

～～～ 褥瘡と疥癬について ～～～

講師・岩田皮フ科院長岩田忠俊先生

- ▼介護に当たっては手洗いの励行を
- ▼疥癬は早期発見を
- ▼褥瘡は予防第一で、かかったら温浴が一番
- ▼寝たきりの方に皮膚科医の訪問診療も

●介護者が心得ること

- ・感染するケアに当たっては、医師の指示に従いますが、基本的には先ずは手洗いを正しく行うこと
在宅支援の基本マナー手洗いの励行は、どんなケアにも当てはまることを再確認
- ・褥瘡、疥癬についてもよく知ること

●具体的な内容

- ・疥癬はよく観察し早期発見を
疥癬は激しいかゆみの特徴だが、訴えることが不可能な痴呆症や意識障害のあるかた、一人暮らしの高齢者などには発見が遅れることがあるので観察を
- ・褥瘡は予防第一（全身栄養管理とこまめな体位交換）
- ・褥瘡には温浴が一番。局所をお湯で洗い流す（感染を防ぐ）
- ・ベッドのギャジアップは30度までに無理に起こすと軟部組織のずれをまねく
- ・清拭はこするのではなく、押しあてて体を拭くかシャワーで手で洗うことが一番お年よりのからだをごしごししない。

●皮膚科医の在宅訪問診療があります

寝たきりなど在宅療養の方が疥癬褥瘡等でお困りになった時は、皮膚科医の訪問診療が受けられますので、主治医の先生にご相談下さい。

8月の定例会は

- 8月2日(月) 午前9時45分～午後3時
 - ◆ケア活動事務手続き 9時45分～10時15分 事務所
 - ◆全体定例会 10時15分～12時00分
 - ◆研修会 講義 13時00分～15時00分
- 講師 今伊勢分院看護部長 民谷悦子氏
この日はケアはお休みです
利用会員さんよろしくお願ひ致します。

つくり「宅老所」育てよう「小規模ケア」フォーラム

主催・・・「あいち宅老連絡会」
日時・・・平成11年7月18日(日)10時～16時
場所・・・ウィルあいち大会議室
参加費・・・3,000円
内容・・・◇「在宅を支援する宅老所」設立運営講座
◇介護保険制度下で宅老所の意義と対応
◇介護保険・老人保健福祉の計画と宅老所
日本福祉大学平野先生、高浜市福祉部長
美濃市「デイケアサロン花時計」代表岸氏

5月会員登録状況

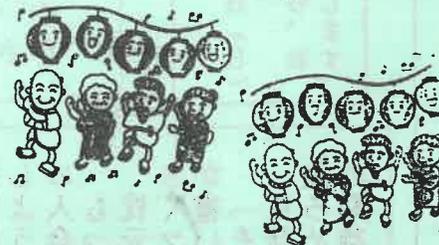
協会員 46人
利用会員 66人
賛助会員 147人
計 259人

5月活动状況

在宅 活動件数 37件
" 活動人数 32人
" 活動時間 695時間
ミニデイサービス利用者数 29人
移送サービス利用件数 2件

7月の予定

- 1日(木) 会報「まごころ」発行
ミニデイサービス(場所・公民館)
-宮寮ボランティア 宮田、藤葉、田中
- 5日(月) 定例会 勉強会 講義 地域在宅支援について
- 7日(水) 運営委員会
- 8日(木) ミニデイサービス(場所・事務所)
-宮寮ボランティア 村橋、大橋 楠
- 12日(月) -宮寮ボランティア 鈴木、平子、山口
-宮市介護サービス事業者説明会
- 14日(水) 運営委員会
- 15日(木) ミニデイサービス(場所・公民館)
-宮寮ボランティア 小出、築城、夏田
- 18日(日) あいち宅老連絡会主催 小規模ケアフォーラム
- 19日(月) -宮寮ボランティア 谷、安藤、小木曾
- 21日(水) 運営委員会
- 22日(木) ミニデイサービス(場所・事務所)
-宮寮ボランティア 岩田、城田
- 23日(金) -宮市在宅療養支援システム実務者会議
- 26日(月) 青少年等ボランティア福祉体験学習会説明会(スボ文)
-宮寮ボランティア 小島、川崎、倉知
- 28日(水) 運営委員会
- 29日(木) ミニデイサービス(場所・事務所)
青少年等ボランティア福祉体験学習会・千秋中学生参加
-宮寮ボランティア 安福、大橋、楠



- 福祉用具リサイクル情報案内
- ◆譲りたいたい情報
 - ◆電動ベッド一台
 - ◆車椅子装着用テーブル
 - ◆手すり(洋式トイレ用)
 - ◆歩行器
 - ◆老人車一台(新品)
 - ◆譲りました情報
 - ◆電動車椅子一台

診療室日記

若い成人の皮膚感染症

岩田 忠俊

最近、通常は子供の頃に罹患することが多い皮膚疾患が、若いお父さんやお母さんにみられるようになりました。例えばリンゴホッペ病(伝染性紅斑)、ミズイボ(伝染性軟属腫)、イボ(尋常性疣贅)、手足口病、ヘルパンギーナ、みずぼうそう(水痘)等です。

普通これらの疾患は学童期の頃までに多くは罹患し、免疫を獲得して大人になってからは罹らない疾患群です。しかし、少子化が進み子供のころからあまり大勢の子供同士で遊ぶ機会が少なくなってきたことが、こうした疾患に遭遇するチャンスを減らしているのでしょうか?確かな統計に基づいた推論ではありませんが、どうもそんな傾向があるように思えてなりません。

上記の疾患をいずれも外来でここ1年程の間に大人の方々に経験致しました。手指足底のイボ(尋常性疣贅)は大人の患者さんもけって珍しくなく、増加して来ているかどうかは分かりませんが、ミズイボとなると大人の患者さんは多いものではありません。ミズイボに限らずこれらの疾患の多くは子供さんから若いお父さんやお母さんに感染してみられたケースでした。

こうした問題は少子化がどんどん進行している我が国で今後、ますます増えてくるのではないかと心配しています。世の中、箱入りのお嬢ちゃん、坊ちゃんばかりになると免疫環境からすれば逆に具合の悪いことになるやもしれません。

(団塊世代の小生は、免疫だけはしっかりついているようです。)
(岩田皮フ科院長)

青少年等ボランティア福祉体験学習
当会ミニデイサービスに受け入れ

(7月29日・8月5日・8月26日)

愛知県及び一宮市社会福祉協議会では青少年に福祉問題の理解を深めてもらおうとボランティアを希望する中・高校生対象に福祉関係施設での体験学習事業を開催します。

昨年に続き今年も「まごころ」のミニデイサービスで受け入れる事になりました。

下記の3校が体験学習に参加します。

- 7月29日・・・千秋中学校生6名と先生
- 8月5日・・・一宮西高校生5名
- 8月26日・・・一宮女子高校生5名